



特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入で、その支出を賄うものです。このように独立して行う事業を特別会計として、一般会計と別に経理しています。

会計	予算額	収入額	支出額
国民健康保険事業	221億4,941万円	210億2,007万円	207億1,577万円
介護保険事業	170億73万円	162億7,390万円	153億4,243万円
後期高齢者医療事業	25億4,319万円	23億8,340万円	19億5,008万円
土地取得事業	5億330万円	5億176万円	5億176万円
簡易水道事業	3,200万円	3,112万円	3,099万円



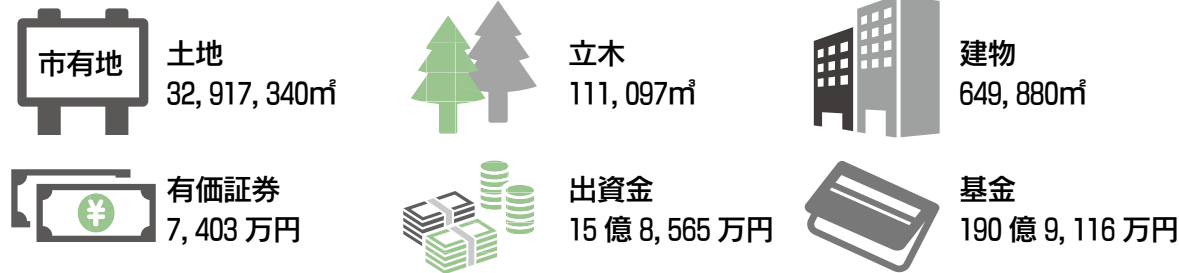
企業会計

病院の診察料や水道料金などの特定の収入を財源とし、独立して行う特別会計の中で、地方公営企業法の適用を受ける会計です。

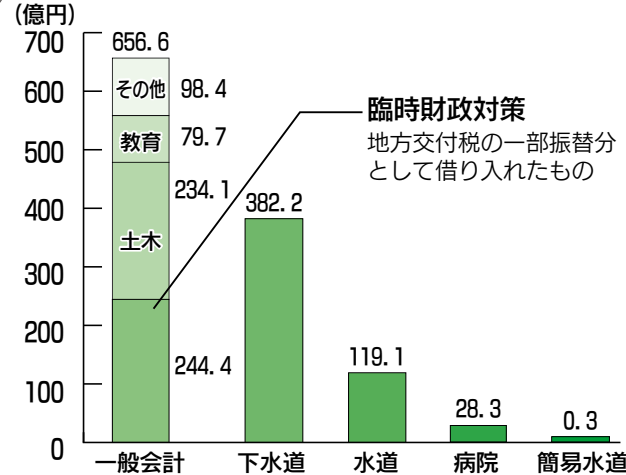
	病院事業会計		水道事業会計		下水道事業会計	
	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額
収益的収入	117億3,782万円	111億8,566万円	30億9,000万円	30億6,481万円	53億2,129万円	52億4,328万円
収益的支出	116億6,342万円	110億8,033万円	28億5,200万円	25億3,305万円	49億9,574万円	48億2,515万円
資本的収入	10億2,421万円	4億9,188万円	10億1,800万円	10億1,087万円	28億6,991万円	21億9,456万円
資本的支出	13億8,658万円	8億8,428万円	26億9,300万円	24億6,634万円	46億5,468万円	40億2,306万円



市有財産の現在高



市債の現在高



※借り入れた市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設等に充てられます。その施設が、将来の市民にも利用されることから、世代間で公平に整備費用を負担するための一つの方法です。

市の借入金の残高は、令和2年3月31日現在、約1,186億5千万円あります。
1人あたりでは一般・特別会計で約33.8万円、企業会計で約27.3万円となります。

※4月1日から5月31日までの2カ月間が出納整理期間(収入・支出を整理する期間)となっていますので、ここでお知らせするものは、最終決算額ではありません。

令和元年度の一般会計、特別会計及び企業会計における令和2年3月31日現在の予算の執行状況をお知らせします。

information
お知らせ

令和元年度 執行状況報告

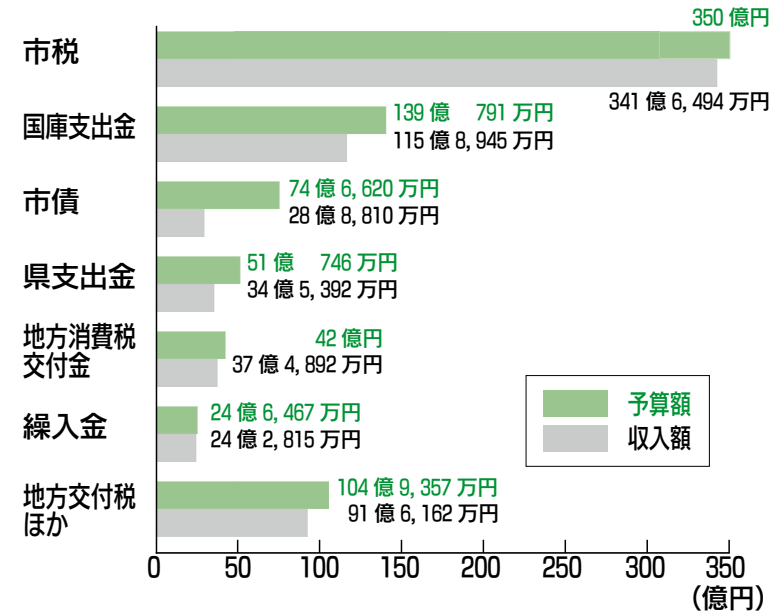


一般会計

市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、市民の皆さんの暮らしに直接関係のある道路や河川の整備、ごみ処理や福祉、教育などの事業を行うための会計です。

【収入】 予算額 786億3,981万円

収入額 674億3,510万円

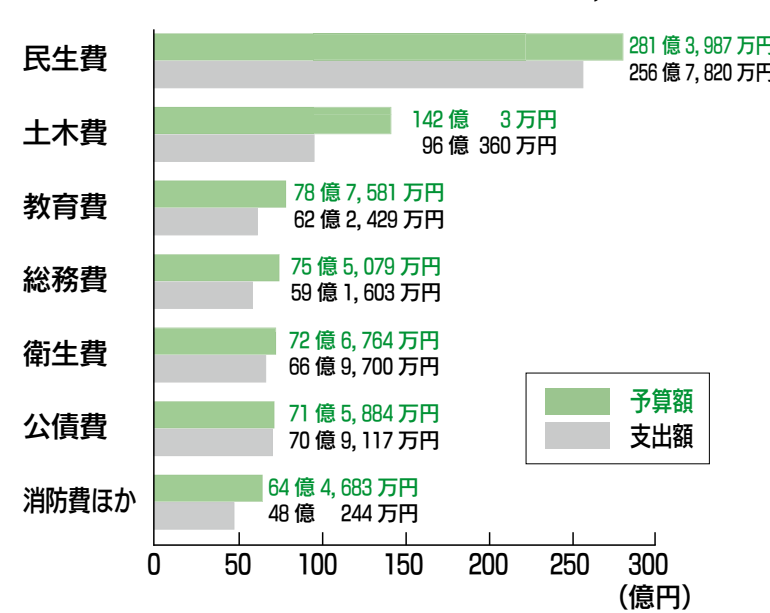


用語解説

- 【収入】
- ▶市税…皆さんが納めた市民税や固定資産税など
 - ▶国庫支出金…国からの補助金や負担金など
 - ▶市債…市が建設事業などの財源に充てるために借り入れる長期の借入資金
 - ▶県支出金…県からの補助金や負担金など
 - ▶地方消費税交付金…消費税のうち国から配分されたお金
 - ▶繰入金…基金などから繰り入れたお金
 - ▶地方交付税ほか…財源調整などのために国から再配分されたお金など

【支出】 予算額 786億3,981万円

支出額 660億1,273万円



- 【支出】
- ▶民生費…子供や高齢者などの福祉に使うお金
 - ▶土木費…道路や河川整備などに使うお金
 - ▶教育費…学校・生涯教育、文化・スポーツ振興に使うお金
 - ▶総務費…市役所の経営管理、戸籍の管理、選挙などに使うお金
 - ▶衛生費…保健やごみ処理などに使うお金
 - ▶公債費…借り入れた地方債(市債)の返済金(元金と利子)など
 - ▶消費費ほか…駿東伊豆消防組合の負担金や消防団の運営など、その他に使うお金

令和2年3月31日現在、予算額786億3,981万円に対し、収入率は85.8%、支出率は83.9%となっています。



財政課
055-934-4715